



# 九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会  
発行責任者 佐川愛子  
✉ nara9jyonokai@gmail.com  
☎ 090-9885-9756  
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>  
<http://www.nara9jyonet.com>  
42号 2020年6月28日発行



安倍政権による改憲発議に反対する「全国緊急署名」の提出行動が4日、衆院第2議員会館前で行われました。約24万257人の署名を野党の国会議員に手渡し、「改憲の企てを完全に断念させるため、声を上げ続けよう」とアピールしました。

九条の会奈良県ネットワークへの2020年度の協力金をお願いします。  
**送付先:** ゆうちょ銀行  
記号 14530 番号 27006271  
九条の会奈良県ネットワーク

## 九条の会ニュース 第377号から

首相が改憲は「目の前の課題」と! 17日閉会した通常国会では、衆院憲法審査会は自由討議を1回だけ、参院では1回も許しませんでした。自民党は国民投票法改定案の成立を突破口に改憲論議入りをめざしましたが、果たせませんでした。

自民党の新藤義孝・与党筆頭幹事は「憲法の議論を深める役割を果たせなかった」と野党批判。参院では日本維新の会が林義正審査会会長の指導力不足と不信任案を提出、与野党の反対で否決の場面も。安倍首相は12日の記者会見で、改憲について、「各派、各党の皆さんの御意見を伺いながら進化させていきたい」が「国会の憲法審査会における条文案をめぐる論議は、残念ながら今国会においても全くみませんでした。今、目の前にある課題を決して先送りすることなく解決していく、これが私たち政治家の責任」などと語っています。国民は、改憲を「目の前にある課題」などと見てはいません。

手を緩めない追撃が求められています。



《平城ニュータウン九条の会、生駒9条の会の街宣の記事が掲載されています》

### 待っていたこの日に参加者も活気 《平城ニュータウン9条の会奈良》

平城ニュータウン9条の会奈良は9日 15時から、高の原駅前でスタンディングをおこないました。暑い日でしたが10人が参加。「#国民投票法案に反対します」「賛否両論の平等なテレビCM、新聞広告、看板、チラシ、郵便物、ネット規制を求めます」の横断幕をあらたに掲げて 通行人に関心をもってもらいました。近くにある学校の中学生が横断幕やプラスターなどをじっくり読んでメモをしていました。以前も中学生が「アッ、憲法や」と関心を示しました。今月11日、憲法審査会が野党欠席のまま、強行開催されるとの情報! コロナ禍がまだ続いており、10万円や休業給付金の支給が遅れているなど、第2波における緊急の課題が安倍政権に求められています。国民の多くは憲法審議を求めています。

### 《生駒9条の会》「憲法改悪反対、核兵器廃絶、コロナ禍・弱者を救え、人種差別を許さない、アベ・トランプ政治を許さない」

生駒駅(スタンディング)行動を再開! 9日は21名が参加しました。新型コロナのため5月末まで行動は中止していました

6月から再開。6月9日の急な連絡でしたが21名も参加しました。コンコースに21名が1列になって、片手にプラカードを、片手に横断幕(全5枚)をもって並びました。人数が多いので、隊列の長さは約40M。ときどきマイクでこのデモンストレーションの目的、アベ政治の悪行の数々について訴え。(九条の会奈良県ネットワーク)



奈良広陵 9 条の会は、新型コロナ感染拡大などのため 2 月末から中断していた世話人会を 6 月 14 日に開催し、可能なところから活動を始めることを申し合わせ、先ず 6 月の 19 の日行動から始めることにしました。

9 時 50 分集合、エコミ 2 階通路でのスタンディング 宣伝、ビラ配布と署名を計画していましたが、あいにく朝から雨がはげしく、一旦 8 時 45 分に中止を決め連絡しましたが、その後雨が小降りになったため再集合できた 4 人で、スタンディングとマイク宣伝、用意したビラの配布を行いました。(署名はできず) 変則的な取り組みになりましたが、買い物客、通行人は思っていたよりたくさんあり、ビラの受け取りもよく、準備した 50 枚のビラは 20 分でなくなりました。「アメリカの兵器爆買はやめてコロナ対策に回せ」のアピールボードを見て近寄ってきて「是非これをやってほしい」と言ってきた人がありました。(アピール文はホームページに全文を載せています)



**#0705**  
**スタンディング**  
**@JR奈良駅**

日時 2020 年 7 月 5 日 (日)  
 15:30 - 16:30

場所 JR奈良駅東口広場

主催 奈良市九条の会交流会  
 nara9jonokai@gmail.com

手作りフラカード、横断幕等を持参下さい。

- #安倍改憲NO!
- #安倍降参議院!
- #自衛隊軍費増額反対!
- #特捜化検庁会経路徹底究明!
- #自衛隊・自衛隊員に対する構造的根絶!
- #憲法精神の完全!
- #2 日入国学級の実現で教育充実!
- #外国人留学生・労働者への生活支援!

コロナ対策のため  
4日開催

8月29日(土)  
 13:30 ~ 16:30

富田さんの問題提起のあと、  
 テーマについて助言をいただきながら討論。

場 所: 奈良市生涯学習センター  
 1階講座室A,B  
 630-8357 奈良市杉ヶ丘23番地

資料代: 500円

- ・上comingの公的交際費を減らすこと
- ・必ずマスクを着用してください
- ・コロナ対策のため、名前、住所、電話番号を印刷します。

## 2020 年 5 月 26 日「憲法 9 条の会・生駒」と「憲法改悪許さない生駒共同センター」の合同会議が開催されました

新型コロナによって、いろいろな集会や活動が中止のやむなきに至っていましたが、そろそろ活動開始を念頭において、上記の会議をもち、情勢把握及び当面の行動などを討議しました。

5 月 3 日の「憲法記念日」における「憲法フォーラム (ジャーナリスト桜井よしこ氏らが企画)」に寄せた安倍首相のビデオメッセージ「憲法改正、私は必ずや成し遂げていく!」は、特に緊急事態条項と 9 条自衛隊明記についてふれ、率直に彼の本音を語っている。さらに二階幹事長や森元首相らが、安倍首相の総裁 4 選を支持する考えを表明、今年のコロナ・来年のオリンピックなどを処理しながら、確実に改憲を実現するためには、来年 9 月以降も安倍総裁続投のアドバルーンを (本人は頭の片隅にもない、と何度も否定するが) あげて、自民党の安倍応援団の決起を促そうとしている。

### コロナ危機は憲法改悪のチャンス!

自民党は憲法審査会に提出する改憲案として、具体的な 4 項目を挙げている。(1)9 条に自衛隊を書きこむ、(2)緊急事態条項を入れる、(3)教育無償化、(4)合区の解消。

この 4 つのうち、多数の国民が抵抗なく受け入れそうなのが、(3)と(4)であった。(1)については、世論調査を見ても国民は賛否両論 2 つに割れそうだ。そして(2)については、大震災や大洪水などの天災の際に政府に強力な権限を与えて、災害復興予算や資材調達、人的資源の確保で速やかな復興を実現する、といえ、国民は阪神大震災以降の多くの経験から「そらそうや、やむをえない」と納得するだろうと読んでいた。そこへ「新型コロナ」が降ってわいてきた。しかも「緊急事態宣言」という言葉が、毎日のようにメディアにあふれている。政府がこれを出す前に地方自治体の知事などが、「早く出せ」「早く出せ」と迫っていた。世論調査をみても、国民の 4 分の 3 がこの宣言に賛成している。こうなると、憲法に緊急事態条項を入れるに国民の大多数は何の抵抗もなく賛成するだろう、改憲の絶好のチャンス、と自民党は見ている。しかし、実際にこれが憲法に書かれると、政府の権力は強大なものとなり、三権分立・地方自治・基本的人権の保障はほぼ停止される。政府の独裁体制となる。

今後の活動予定  
 6 月 9 日、6 月 19 日、7 月 9 日、7 月 19 日スタンディング宣伝  
 6 月 25 日平和行進、8 月 23 日夏のつどい

## 生駒・北葛・大和郡山・香芝 九条の会交流会が 6 月 9 日、斑鳩で開催。交流を行いました。

生駒; 5 月 26 日お知らせ発行 (ホームページに掲載)  
 5 月 29 日合同会議開催。ツイッター学習会。9 日・19 日行動

平群; 4 月 5 月と 19 日スタンディングを実施。九条の会・へぐりニュース発行 (ホームページに掲載)

三郷; 2 月 19 日行動。3 月 1 日にプラスターを作る。

上牧; 5 月 23 日 JR 奈良スタンディングに参加。6 月 23 日スタンディング集会を行う。

河合; 「新聞記者」上映会中止。九条の会だより発行 (ホームページに掲載。NHK 問題、検察庁法問題など) 18 日に世話人会

広陵; 19 日行動再開。

香芝; 9 日 7 時から街宣行動。五位堂駅に 5 人が参加。通行人や通勤の働く人たち・学生にマイクで訴えました。香芝九条の会会報 (ホームページに掲載)

斑鳩; ポスターを貼っていきたい

5 月 3 日から始めたメール集会「しゃべり場 9 条」に投稿頂きまして有難うございました。様々な内容が述べ 81 名の方から寄せられました。参考になったり励まされたり、知らなかった事実や法案、活動の提起などがあり、「コロナ禍での安倍首相が持ち込む悪法へのたたかい」を行う事が出来ました。検察庁法改正案や国民投票改正案の今国会での採決を断念させることが出来たのは「声を上げれば悪法は止める事ができる」という実感です。これまでの「安倍改憲 NO!」の署名活動を軸に、街頭宣伝やスタンディング、集会や講演会などの地道な運動と安倍首相のコロナ対策があまりにも国民の命や生活を軽視していることへの不満が合わさって政権を揺さぶりました。

メール集会「しゃべり場 9 条」の憲法月間は終わりますが、引き続き皆さん方の投稿をお待ちしています。